

閉会挨拶 三重県済生会支部長 諸岡芳人氏

皆さん、どうもお疲れ様でした。長時間、大変有意義な勉強をしていただけたかなと思います。本日のご講演を賜りました林恭子様、4名のシンポジストの皆様、今日は本当にありがとうございました。

済生会は、全国的にソーシャルインクルージョンに基づくまちづくりを推進することを、使命として近年活動を重ねております。その中でひきこもり支援というのは非常に大きな課題であると思っております。三重県済生会におきましても、今後ひきこもり支援に積極的に支援の輪を広げてやっていきたいと思っております。

今日のお話のひきこもり支援につきましては、私は全くの初心者というか、ゼロからお話を聞かせていただいたようなものでありまして、頭の中でなかなかフレームづくりができておりませんので、うまく今日のお話を整理するところまでは残念ながらいきませんで少し残念に思いました。

今日の林先生の最初のご講演の中で、私などの初心者が聞いていて「なるほどな」と思ったことは、一つは、ひきこもりの方に居心地のいい居場所の提供というのが最初大事ななという思いをいたしておりました。

残念ながら三重県済生会ではまだ何も取り組みができていないのですが、同じ済生会の北海道済生会の小樽病院では、近くのショッピングモールの中に一定のスペースをお借りして、そこで行政やいろいろな主体の方々とコラボし、伊勢市で設けられているような、ひきこもり支援のための居心地のいいスペースを提供しているという事例もあります。三重県済生会もそれを見習って、少しでも発展させていきたいと思っております。

今日の講演、シンポジウムを聞かせていただいて、ひきこもりの実態や支援の困難さを少しはわかったつもりではおりますが、これを生かして、三重県済生会としても皆様と共同して前に進みたいと思っております。

本日はまだまだ猛暑の中を、伊勢市内の皆様をはじめ、三重県全体からたくさんの皆様にご参加をいただきまして本当にありがとうございました。また、われわれ済生会の仲間も北海道から九州まで、約100名の職員の皆さんが伊勢に集まっておられました。本当にありがとうございました。では皆さん、帰り道、気をつけてお帰りいただきたいと思っております。これをもって閉会のご挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございました。